

平成29年2月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成29年2月27日(月) 9時から
2. 会 場 : 白杵市役所 白杵庁舎3階 301会議室
3. 出席委員 : 教育委員長 垂井 美千代
教育委員長職務代理者 渡辺 義弘
委 員 野上 美智子
委 員 神田 岳委
教育長 斎藤 克己

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	廣田 誠一	学校教育課長	山田 晃世
社会教育課長	斉藤 隆生	文化・文化財課長	川野 義明
学校給食課長	姫野 敬一		
教育総務課課長代理	荻野 健	学校教育課課長代理	斎藤 正雄
社会教育課総括課長代理	口石 愛		
教育総務課主査	原 絢子	教育総務課主事	姫野 まりな

5. 傍聴人 木村 公治

6. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席委員数の報告を行います。本日の出席委員5名、欠席委員0名で、出席委員が過半数に達しましたので、白杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。

ここで、事前に皆さんにお諮りいたします。本日の委員会について、1名の方から、会議を傍聴したいという申し出があります。この傍聴希望の方は、木村公治さんです。傍聴に関しては、白杵教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも委員長の許可を受ければ傍聴できることになっています。今回、次第4の学力向上についてのうち「平成28年度白杵市基礎・基本テストの結果について」と次第6の「小中学校適正配置計画について」は非公開としたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、採決を行います。賛成の委員は挙手をお願いします。3分の2以上の挙手がありましたので公開しないこととします。

(委員 許可)

それでは、それ以外については、傍聴を許可するという事にいたします。

(傍聴者 入室)

(委員長)

これより白杵市教育委員会、平成29年2月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は本日一日限りといたします。

次に、会議録署名委員に 渡辺委員と神田委員の2名を指名いたします。

2. 教育長報告

(委員長)

次第2の教育長の報告を求めます。

(教育長)

県内一周駅伝大会が終わりました。ご案内のように2位ということで、私も初日と最終日に応援に行かせていただきました。初日は3位でしたが、あとはずっと2位をキープということで、後ほど、担当課から詳しい報告があると思いますが、選手皆さん、素晴らしい走りを見せてくれました。勇気をもらったというか、本当に素晴らしい走りでした。特に、新しい選手もいて彼が力を発揮してくれたというのと、それから、昨年6位でB部だったのですが、今年は2位ということで、A部復活という嬉しいニュースとなりました。

それでは、お手元の行事報告に従って報告いたします。

まず1月末から2月17日まで教育委員会事務局の職員を対象にヒアリングを実施しました。

それから、5日は「福祉と教育を考えるフォーラム」ということで、地域でともに生きるをテーマにフォーラムを開催しました。自立支援協議会と特別支援連携協議会と合同で、障害者差別解消法と特別支援の関係を報告させていただきました。また、精神リハビリテーション学の九州ルーテル学院大教授 三城大介さんに「心の病と親なきあと」をテーマに講演していただきました。

7日は岐阜県輪之内町が視察に来ました。この町は戦国武士 丸毛兼利でまちづくりを進めています。町長と商工会会長と担当者が来ました。臼杵市の丸毛家の住宅を見たいということでお見えになりました。

8日はフジテレビから取材が来ました。3月19日に豊洋中学校の閉校式がありますが、その取材で見えました。ミスターサンデー（日曜日午後10時）という番組で取り上げられます。

同日ですが、退職校長会の活動の協力についてということで要望を受けました。

10日は中体連の研修会があり、最後だけですが聞かせていただきました。ほめる子育て研究所 竹下所長より「子どもが輝く ほめ達の魔法」ということでほめることについて講話をしていただきました。

13日は定例校長会がありました。新聞でご覧になったと思いますが、佐伯市の中学校教諭が特別研修中でありながら、スクールセクハラ等があり、懲戒免職となりました。そのことについて話をさせていただきました。

それから、後ほど報告があると思いますが、基礎基本定着テストの結果についても話をさせて

いただきました。

その日夕方、市内15地域の地域振興懇談会主催の地域づくり講演会「市民がつくるにぎやかな社会」がありました。牧野東京大学大学院教授から講演していただきました。今の高齢社会、少子化社会、それから人口減少社会という中で学校が福祉化している、福祉の施設になりつつある。今「子ども食堂」という話もありますが、学校を核としていろんな市民と一緒にあって、事例を出しながら高齢者の生きがいを含めてにぎやかな社会をつくっていこうという非常に参考になる話をしていただきました。

15日、社会教育委員会議があり、平成29年度の基本方針について協議をしました。家庭教育の取組を来年具体化していくという話をしております。

16日は今年度3回目の総括学校安全衛生委員会がありました。今年度の総括と来年度に向けて話をしました。

17日は、県立高校の一次入試締切でした。一次試験の最初が臼杵高校180人の募集に対し、推薦は20人ですが、それを除いた180人の募集に対し、応募が185人、うち市内が107人でした。その次の週の変更締切である23日に触れていますが、応募が190人、うち市内が104人と3人減っております。後ほど、詳しい報告があると思いますがこういった状況であります。試験は3月7日・8日にありますが、市内出身者が多く合格することを期待しています。

それから20日に冒頭に話をしました県内一周駅伝大会が開始されました。結果はさきほど話したとおりであります。

21日、消防総合指令センター運用開始式がありました。立派な指令センターができました。携帯で電話をすれば、すぐに居場所がわかるということで、救急車の到着までの時間が非常に短縮されるのではないかと思います。

22日・23日は校長人事評価ヒアリングがありました。年度当初に定めた目標管理シートについて達成状況のヒアリングを行いました。初めての取組みということでいろいろ課題が残りました。指標の設定の仕方など問題をかかえているかなと思いますので、これについては県教委に問題点について報告したいと思っています。

24日は県内一周駅伝大会の最終日でしたが、その日夕方、川登小学校が大分合同新聞「福祉優秀校」で表彰されたということと綱引き大会で受賞したということで11人の子供たちが報告をしてくれました。

25日は、公民館まつり、そして昨日26日は子ども図書司書の認定式がありました。今年度、県の子ども読書リーダー育成事業のモデル事業として取り組んできました。8月から1月まで県立図書館で研修を重ね、午前中県で認定式があり、夕方に市で認定式がありました。子どもたちは本当に本が好きということでした。第1期の子ども司書としてこれからも続けていってほしい

と思いますし、各学校で活躍してくれることを期待しています。

それから、本日この後、午後から教頭会がありますし、図書館協議会もあります。今年度の事業報告と来年度の基本方針等について話をします。また、臼杵小学校で里帰り授業を実施します。午前中9時30分頃から始まっておりますが、臼杵小学校6年生を対象に行います。講師が元プロ野球選手で臼杵市出身の池田重喜さんです。臼杵小学校と東中学校へ行き、自分の体験を「やりぬく力」ということで話をさせていただきます。

明日28日は3月定例会市議会が開会となります。また、下藤キリシタン遺跡調査委員会があり、国指定に向けた取組みについて協議します。

以上で説明を終わります。

(委員長)

教育長の報告が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(委員 質疑なし)

以上で、教育長報告を終わります。

3. 協議事項

(委員長)

これより次第3の協議事項に入ります。第7号議案「平成28年度補正予算（3月定例会市議会）」について説明を求めます。

(教育総務課長)

明日から始まります3月定例会市議会に教育委員会事務局が平成28年度補正予算を提出しますので、その議決を求めるものです。資料の1ページをお開きください。主なものをご説明いたします。まず教育総務課からです。歳入が寄附金30万円です。これは、フジジン醤油株式会社から例年チャリティーの収益金としていただいているものです。その下の中学校費寄附金43万6千円ですが、これは豊洋中学校の閉校についてインターネットのニュースを見て感動された群馬県の方が、豊洋中学校のためにということで43万6千円を寄付いただいたものです。

続いて、歳出です。1番 電算機器購入費 Δ1,400万円についてです。今年度中学校の授業用のパソコンを更新する予定でしたが、市長部局より2020年まで使用できるパソコンを80台まわしていただくことになりましたので、今年度の予算を減額するものです。2番 施設補修工事費 Δ1,000万円についてです。主なものが臼杵小学校の防球ネットを整備する予定にしておりましたが、工法を見直す必要があり、今年度の執行を見合わせるものです。

また、繰越明許費についてですが、2番 学校施設等耐震対策事業ですが、今年度耐震に係る調査に時間がかかったため、来年度に工期を繰越しするものです。次に中学校授業用パソコン整備事業600万5千円ですが、これは来年度にマイナンバー制度が始まることに伴いまして、セキュリティ対策としてインターネットからのネットワーク分離をする必要がありますので、その対応について県教委から提案がありましたので、その方式を見直すことになり、来年度繰越すものです。次に福良ヶ丘小学校自家発電設備整備事業と中学校空調設備設置事業の2つにつきまし

ては、国の2次補正予算で採択されましたので、工期を来年度まで延長するため繰越すものです。

続いて、債務負担行為の追加についてご説明します。小中学校ネットワーク分離事業5,895万1千円及び校務用パソコン整備事業2,484万円につきましては、先ほど説明しました、今年の7月2日までにセキュリティー対策としてネットワーク分離を行う必要がありますので、7月2日と期限が限られていますので、来年度予算を今年度中に準備を始めるために債務負担行為を行うものです。

(学校教育課長)

続いて、学校教育課より説明します。まず歳出についてです。5番 スクールバス運行事業委託料、6番 スクールバス車借上料、7番 要保護及び準要保護児童援助費、8番 要保護及び準要保護生徒援助費については、執行見込みが減ることによる減額となっています。

(社会教育課長)

社会教育課より説明します。歳出についてですが、9番 設計委託料350万円の減額についてですが、来年度予定をしている野津中央公民館大規模改修についての設計委託料について、入札に伴い執行見込み減となりますので、減額補正するものです。この分の地方債の350万円減額というのは、歳入 公民館改修事業債△350万円ということで減額補正しております。また、10番 電算機器購入費△150万円については、臼杵図書館の図書管理システム更新のため行った入札によって減額が生じております。

続いて、債務負担行為の追加についてです。臼杵市中央公民館大規模改修事業ですが、限度額1億179万円については、今年度、中央公民館改修工事の際にホールの吊りものを前提としていなかったということが判明しましたので、来年度事業に組み込むということになっています。なるべく早く事業に掛りたいということで、今年度入札するために債務負担行為をするものです。

(文化・文化財課長)

文化・文化財課についてです。歳出についてですが、2ページをお願いします。11 文化財保存事業補助金23万6千円です。市の指定文化財である「普現寺普賢菩薩像」が雨水等で劣化が激しく緊急性が高いことから、保存修復のため計上しております。修理費は88万4千円ほどかかります。市が2分の1負担となり、44万2千円となります。今回これに予算の残額がありましたので、その分を調整し、追加として23万6千円を計上するものです。

次に繰越明許費ですが、市民会館改修事業 1,327万7千円です。これは12月補正で計上しました市民会館の空調用の冷却塔の更新工事ということで、発注をかけておりますが、工期が3月31日までとなっていますが、4月にずれ込む可能性があるということで計上しております。

(学校給食課長)

学校給食課です。歳出についてですが、12番 器具費 400万円の減額となっています。これは、今年度6月3日にカートインタイプ蒸気式消毒保管機の入札を行いました、その入札残と、平成28年度に予定していた給食設備施設器具費の確定による減額です。

(委員長)

28年度3月補正予算について、説明が終わりました。質疑等ありましたらお願いします。

(質疑等なしの声)

(委員長)

第8号議案「平成29年度当初予算について」説明を求めます。

(教育総務課長)

平成29年度当初予算について、ご説明いたします。資料の2ページの歳出をご覧ください。

3番 学校施設維持管理営繕大工導入事業 252万円です。これは、小中学校の施設を補修する場合、迅速に対応するために大工に依頼し補修をしてもらうものです。

4番 小学校校舎非構造部材耐震対策事業 644万4千円です。非構造部材耐震化のうち、小学校について窓ガラスの飛散防止のため、窓ガラスに飛散防止フィルムをはることと、高い棚に収納している物の落下を防ぐため落下防止シートを貼る予算を計上しております。

5番 旧宮本小中学校プール解体事業 714万円です。旧宮本小中学校のプールが民地にあるということと、老朽化でひび割れ等があり危険ということで、解体をするため計上するものです。

7番 小中学校ネットワーク分離事業 5,973万7千円です。これは、7月までにセキュリティー対策を行うために、校務パソコンのネットワークをインターネット環境から切り離すものです。

10番 用地購入費 144万3千円です。南中学校の敷地内に民地がありますので、今回、土木事務所が河川工事を行うのに合わせまして、それに関連する用地を購入するものです。

11番 電算機器購入費 2,484万円です。これは職員用パソコンの更新を来年度から3ヶ年かけて行うもので、来年度は115台を予定しております。

12番 フッ化物洗口実施事業 108万9千円です。今年度モデル校として上北小・下北小でフッ化物洗口を実施しておりますが、来年度中に全小学校に導入予定ということで、検討委員会の委員報酬や歯科医師の謝礼、洗口液調整委託を計上しております。

14番 施設補修事業 7,824万です。これは、兼ねがね懸案でありました野津小学校の図書館の拡張工事を行うことと、上北小学校の2階トイレの新設工事を行うものです。また、それと合わせ、福良ヶ丘小学校を除く各学校の小学校1年生用のトイレの様式化を行うため工事費を計上しています。

次に、16番 照明LED化事業 691万2千円です。今年度西中学校の照明をLED化しましたが、それ以外の学校のLED化に向け、順次準備を進めるため計上するものです。

(学校教育課長)

学校教育課です。主なものを説明いたします。

23番 ジェットプログラム事業として、ALT 2名を配置するため、773万円計上しています。

24番 小中一体教育推進事業として、184万3千円を計上しています。

26番 コミュニケーションプログラム事業ということで、来年度も南中学校にお願いして、計画をしております。

29番 学力向上対策事業として、3,502万4千円を計上しています。複式授業解消臨時講師の賃金や学習サポーターの報酬の予算のほか、授業を達人に学ぶ授業を計画しておりますし、基礎基本テスト等もこの中に計上しています。

30番 スクーリング・サポートネットワーク整備事業ですが、不登校児童・生徒に対する支援として、きずなの運営経費を計上しております。

32番 特別支援教育総合推進事業として、4,837万8千円計上しています。特別な支援が必要な児童・生徒に対する指導や支援ということで、教育相談員等の

雇用の計上をしています。33番 学校図書館活用推進事業は、市内全小中学校に図書館専門員を配置するという計上しています。

(社会教育課長)

社会教育課です。歳出の41番 臼杵中央公民館大規模改修事業 1億454万3千円です。大ホールの舞台天井にある吊りものの改修と和室・託児室を改修したいと考えています。42番 野津中央公民館大規模改修事業 1億1,278万3千円です。1年遅れて、野津中央公民館の大ホールも天井の改修を中心に行いたいと思います。45番 青少年教育事業で、臼杵っ子土曜教室、臼杵・野津少年交流事業を例年通り計上しています。46番 家庭教育支援事業で、乳幼児期家庭教育学級等も例年通り計上しています。47番 協育ネットワーク推進事業で、まなびリストの派遣について計上しています。48番 放課後チャレンジ教室事業では、放課後子ども教室及び中学3年生教室に係る経費について計上しています。49番 報償費180万円です。九州大会や全国大会等に出場する選手の報償費として、来年度は今年度より増加する見込みで計上しております。51番はスポーツに係る指定管理料として421万3千円、53番 市体育協会補助金として1,050万円になっています。来年度は県体が別府・杵築で行われます。56番 施設補修工事についてですが、市民球場のスコアボードのボールカウント表示を補修するものです。57番 野津吉四六ランドの施設管理委託料となっています。

(文化・文化財課長)

文化・文化財課です。歳入ですが、市民会館使用料・歴史資料館入場料は、例年並みで計上しております。その他、国庫・県費補助につきまちは歳出で説明をさせていただきます。歳出です。60番 市民会館施設・設備改修事業として2,170万を計上しています。内訳は改修工事2,000万、設計委託料170万円となっており、外壁やブロック舗装を計画しています。61番 臼杵っこガイド・学芸員育成事業として59万2千円を計上しています。これは少額ではありますが、来年度の目玉ということで、歴史資料館で臼杵っこ学芸員の育成をしたいということで経費を計上しております。今12月・1月・2月で3回講習をしており、3月に4回目の講習を行って、認定されるという流れになっています。64番 市内文化財保存観測調査支援業務委託料として418万3千円を計上しています。これは、臼杵摩崖仏を主とした指定文化財について劣化状況を観測するもので、これまで国から監視カメラなど機器で観測するよう強い指導がありましたが、非常に経費がかかるということで、その代替策として当面は人力によって劣化観測・記録調査を専門業者に委託してやるということで、少しでも維持管理料が抑えることができればということで今回計上しております。66番 国宝臼杵摩崖仏保存修理事業として、8,661万7千円計上しています。これは、計画的にやっております石仏の覆屋改修事業ということで、来年度はホキ1群の覆屋改修工事とホキ2群の覆屋改修実施設計委託の予定をしております。国庫支出金、県支出金が5,019万7千円、そして地方債として3,640万円が財源となり、このうち地方債は過疎債を充当するようにしています。69番 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業として、648万7千円を計上しています。これは国庫補助事業として取組む事業ですが、特に来年度、下藤のキリシタン墓地の国指定に向けた市民への周知が必要となるということで、シンポジウム等を開催し、十分な周知をしていきます。71番 臼杵市歴史資料館費ということで、2071万3千円計上しています。これは、歴史資料館の運営費となります。来年度、特に、印刷製本費198万円を計上し、毎回、企画展の

チラシを子どもの数だけ学校にチラシを配布し、なんとか資料館の企画展を多くの方に PR したいと考えています。

(学校給食課長)

歳出の 73 番 賃金として 5,013 万 7 千円を計上しています。これは、臼杵・野津給食センターの臨時職員等の賃金です。臨時職員 16 名のうち、臼杵が 11 名、野津が 5 名、非常勤職員 9 名のうち、臼杵が 7 名、野津が 2 名、パート職員 6 名のうち、臼杵が 5 名、野津が 1 名となっています。74 番 燃料費及び光熱水費として 2,558 万円を計上しています。これは、臼杵・野津学校給食センターの両センターにおけるボイラーの灯油や調理用の電気ガス水道代となっています。75 番 修繕料についてですが、これは、炊飯器等の調理機器や消毒装置、配送用コンテナ、洗浄機等の修繕費用となっています。次に 76 番 手数料 660 万円を計上しています。これは、調理員等が 2 週間に 1 度検便検査をしているため、その検便手数料と、ボイラー等の点検手数料をあげております。77 番・78 番 施設警備等委託料についてです。これは、臼杵学校給食センター及び野津学校給食センターにおける電気設備や警備委託、清掃委託等の運営に係る経費を計上しています。79 番 公用自動車運行業務及び運搬等委託料として 1,569 万 4 千円を計上しています。これは、臼杵学校給食センターの配送運転手及び配送助手委託として 1,050 万円、野津学校給食センターの配送運転手及び配送助手委託として 519 万 4 千円を計上しています。80 番 車借上料として 253 万 7 千円です。配送車 5 台及び公用車 1 台のリース料を計上しています。82 番 施設補修工事費 2,208 万円を計上しています。これは臼杵センターのボイラー施設補修、消毒保管庫の工事費や野津センターの給湯設備等の補修を計上しています。83 番 器具費 1,524 万円です。臼杵センターで 800 万、野津センターで 620 万円計上しています。以上です。

(委員長)

先ほどの 28 年度補正予算に続きまして、29 年度当初予算ということで、明日から始まる定例市議会で出される予算の説明が終わりました。質疑等がある方はいらっしゃいませんか。

(意見なしの声)

第 8 号議案について、承認でよろしいでしょうか。

(委員承認)

(委員長)

では次第 4 の「学力向上について」に入ります前に、傍聴者の退席に命じます。

(傍聴者 退場)

5. 教育予算等について

(委員長)

続いて、教育予算全般について要望等はございませんか。

(要望等なしの声)

(委員長)

それでは傍聴人の再入場を許可します。

(傍聴者 再入場)

(委員長)

続いて、「フッ化物洗口の参加率について」説明をお願いします。

(教育総務課長)

先般お知らせしましたように、度重なる保護者への説明を経て、2月から水を使っての練習ということになりました。上北小学校は水曜日の昼休みが終わった5時間目の前にランチルームに集まってみんなで実施、下北小学校は木曜日の朝1時間目が始まる前に各クラスで実施ということで、最初学校に行き、様子を見させていただきました。参加率ですが、まず上北小学校ですが、今回6年生は期間がないため参加率に入れておりません。対象は5年生までで35人中24人が参加ということで、68.6%でした。次に下北小学校ですが、168人中120人が参加ということで、71.4%となっています。これは参加していない方も途中で変更が可能ということですので、途中で変わる可能性があります。今後は3月から実際に使っての実施となります。また、来年度中には、検証し課題を把握しながら、全校に順次広げていきたいと考えています。

(委員長)

フッ化物洗口について、ご質問はありませんか。現状は水を使っての練習に入ったということです。よろしいですか。

(質疑等なしの声)

(委員長)

「大分県史跡下藤地区キリシタン墓地の保存と活用について」説明をお願いします。

(文化・文化財課長)

大分県史跡であります下藤地区キリシタン墓地の保存と活用について、調査が終わり、今後はキリシタン墓地を中心にどのように保存していくか、市民なり観光客に公開しながら活用していくかということで、その方向性をまとめましたので、その概要について神田課長代理より説明をさせます。

(神田課長代理)

県史跡「下藤地区キリシタン墓地」の保存と活用について説明させていただきます。下藤地区キリシタン墓地については、皆さんも新聞等でご覧になっている通り、これが日本では極めて珍しい遺跡となっています。日本で初めて完全な形で見つかった430年前、つまりキリスト教が容認されていた時代の墓地であるということ、そして、これがいつ誰が何のために作ったかということが歴史資料の方から判明しているということ、そして更に、この墓地が江戸時代の禁教令のもとでなぜ壊されずに残ったのかということ、キリスト教が禁止されたその後の展開を日本で唯一、史跡として物語ることができる所であるということが大きな史跡としての価値となります。

それと同時に、この史跡だけでなく、その周辺の集落にも歴史的価値があるということで、それは文献資料でわかったのですが、このキリシタン墓地が作られた時からその景観が変わっていないということがわかりました。今、下藤地区に行けば、田んぼや畑の位置、家の位置が430年前から変わっていないことが判明しました。キリシタン墓地が発見されたことで、その周辺にも、例えば豊後大野市の境に接している御霊園地区ではキリシタン墓地が十字架入りで見つっておりますし、また川登地区の川野さんの先祖墓地の中にキリシタン墓が3基見つっております。キリシタンの墓がどういうものかという基準を日本で初めて提示することができましたので、その目で野津地域にこれだけキリシタン墓が残っている、そして更には全国的にまだまだこのようなタイプのものがあるのだということが最近少しずつわかりつつあります。非常に価値の高い遺跡ということで、私たちも市長に10月に話をしまして、将来的には国指定の史跡を目指そうということになりました。また現在マレガプロジェクトとあって、江戸時代のキリスト教が禁止された時の統制の内容についてわかる資料ですが、これはバチカンにしております。これはバチカンで調査をしておりますが、9割方が白杵の文書で、これを解読していきますと、なぜ野津のキリシタン墓地が禁教の時代であっても残すことができたのかということが、ひょっとしたら解明されるかもしれない。言い換えますと、現在の中学校の歴史のテストで、江戸時代のキリシタンの弾圧が非常に厳しいものであったというのが正解になりますが、将来的には、こういう遺跡や文書の調査によって、江戸時代のキリシタン統制は各地域によって異なり、江戸幕府の代官や奉行の裁量によって異なっていたというのが正解になる。それくらい日本史の常識を変えるぐらいの発見がこの史跡とマレガプロジェクトでこれからつきつめられていくことになります。こうしていきますと、野津はこの地域だけでキリシタンの歴史それはキリスト教が入っただけなく、その後弾圧の歴史も全部語ることが野津の地域だけでできるということになります。こうした意味からも国指定として永久的に国指定という担保を得まして、永久的に保存をしていき、日本史に誤解のないような方向性でもっていき、教育にも貢献していきたいと考えています。そのためには、国指定とした後に市民の集える場所、市民がいつでも学べるような場所を作ること、観光拠点として多くの人に白杵・野津に優れたキリシタンがいたということ、仏教文化との対比で伝えていくということが市長の重点施策の中に挙げられています。白杵摩崖仏があり、キリシタン史跡があるということで、相反するような宗教の国を代表するような文化財がここにあることから、どうしてこの地域には2つの宗教が両立していったのかということを理解していただけるような観光を作っていきたいと考えています。

また、今後何らかの形でカトリックの人たちが巡礼の場として活用してもらうことによって、永遠不変の宗教であるカトリックの立場からこの史跡の重要性を世界に訴えていただく、そして白杵、日本という規模でなく、世界的な規模で、マレガ資料と下藤キリシタン墓地を守って、後世の方に活用できるような体制を作りたいということで、素案を作っております。来年度、国の史跡指定を目指すことができるよう、業務を進めていきたいと考えています。明日、下藤キリシタンの調査指導委員会がありますので、この資料を提示して、現在までの経過と今後の白杵市の取組について説明をしたいと思っております。

(神田委員)

神田さんからの説明でこんなワールドワイドなことなのかととてもわくわくしました。

(委員長)

以上で、次第6その他を終わります。これもちまして、2月の定例教育委員会を閉会します。
お疲れさまでした。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
